

よつ葉だより

2020年
6月29日号
No.610

地産地消～いのちと健康



くらしを守る～

よつ葉生活協同組合

よつ葉生活協同組合

第38回通常総代会が開催されました

新型コロナウイルス感染症予防措置の異例の形式となりました

理事長の倉持まゆみさんが退任しました

2期4年、理事長を務めさせていただきました。在任中には、組合員の皆様を始め、多くの方々のご厚誼をいただきましたこと、心より感謝申し上げます。

今回、85歳と81歳の両親の介護のため、退任することとなりましたが、高齢の両親がこれまで大過なく過ごせてきたのは、よつ葉生協の「食の力」の賜物と考えております。

これからもよつ葉の大ファンの一人として、地域でよつ葉基準の地産地消がもっと広がるよう、よつ葉の良さを伝えていきたいと考えています。よつ葉の商品を利用する協同組合の仲間が増えることで、子どもたちが健やかに過ごせる未来が来ると信じています。これからもみんなで頑張っていきましょう！



新しく中田秀治さんが専務代表理事に専任されました

この度の総代会で、役員改選に伴い専務理事に就任しました。

1982年「いのちと健康 くらしを守る」理念を基によつ葉生協は誕生しました。

合成農薬・食品添加物・合成洗剤の問題から子どもたち(未来)を守るため、安心安全な生協生活の普及に取り組んで参りました。

今、私たちの暮らしを取りまく環境は、38年前よりもある意味厳しいものがあります。経済格差の広がりによる貧困問題、超高齢化社会の到来や少子化問題など、地域福祉や地域コミュニティの存立に関わる問題、平和や環境問題などを含め、私達のくらしに関わる問題が山積しています。直近の課題では、年明けからの新型コロナウイルス感染症の蔓延による、かつて経験のない事態(外出自粛や緊急事態宣言など)が続いています。生協として「ライフライン」の確保を役員一同、細心の注意を払い最優先に取り組んでいます。一日も早く新型コロナが終息に向かい、いつもの日常生活に戻れますように心から願うと共に、よつ葉の安心安全な食材で免疫力を高める食事を取りましょう！組合員の皆様におかれましては、引続きご支援・ご協力のほど、お願い申し上げます。



よつ葉生活協同組合

第38回通常総代会 報告

開催日：2020年6月13日（土曜）

会場：よつ葉生活協同組合 本部 会議室

総代定数： 114名

総代状況： 114名（本人出席 11名、代理人出席 0名、書面議決 103名）

第1号議案 2019年事業報告承認の件…反対0 保留4 賛成110で可決しました。

A 食の安全を守り、安心できる食材をお届けする活動

- ・有機農業の推進 ・新型コロナウイルス感染症予防対策 ・日本の種子(たね)を守る会への協力
- ・ゲノム編集食品の規制と表示求める署名(3,229筆/1,200枚) ・食の安全リスク管理マニュアル作成
- ・ネオニコチノイド系農薬不使用の取組み(りんごオーナー、生産者学習会)
- ・農薬不使用野菜と地産地消の推進 ・業務関連委員会の活動

B 理念を共有する仲間を増やし、生協の輪を広げる活動

- ・地域食育活動の推進 ・よつ葉マルシェ農業体験の開催 ・よつ葉カフェの開催 ・託児ボランティア活動
- ・暮らし応援企画チラシの展開 ・ふれあいまつりの開催 ・よつ葉だより、ホームページの運用
- ・専門地区委員会活動とサークル活動 ・生協ネットワーク 21 関東事業連合協議 ・日本消費者連盟 50周年企画開催

**C 安心して暮らせる社会をつくる活動**

- ・「戦争も核兵器もない平和な世界」を求める署名(1,032筆/375枚) ・おたがいさま活動、くらしの電話相談共同利用
- ・共生社会とちぎづくり表彰の受賞、福井県知事の単協視察 ・フードバンクと子ども支援プロジェクト
- ・適格消費者団体設立の支援 ・台風15号、19号の募金、災害ボランティア派遣、被災地避難所への炊き出し支援
- ・脱原発パレード ・NPT再検討会議被爆者活動支援募金 ・日本生活協同組合連合会や各生協連合会との協同活動

D 理念を実現するための組織づくり

- ・栃木県生協連50周年新聞広告座談会 ・消費増税対応 ・諸規定の見直し ・職場の環境整備、改善等
- ・生協ネットワーク21との協同 ・よつ葉生協業者協力会との協同

2019年度決算報告、剰余金処分

2019年度決算報告 剰余金処分

(単位：万円)

項目	金額	項目	金額	2019年度の供給額は、前年対比100.5%、組合員は、前年比100.2%で終了。当期未処分剰余金は、1,876万円でした。剰余金処分に出資配当0.3%326万円、法定準備金1,900万円、次期繰越金は1,503万円です。システム開発積立金3,500万円を取り崩し資産としています。
供給額	392,196	特別損失	74	
供給剰余金	114,115	税引前当期剰余金	1,307	
事業経費	119,279	法人税等	670	
事業剰余金	-5,164	当期剰余金	637	
雑収入	6,335	期首繰越金	1,812	
雑損失	266	期末剰余金	1,876	

第2号議案 2020年度事業活動計画及び予算決定の件…反対0 保留3 賛成111で可決しました。

よつ葉生協 「2020年度事業数値」計画

(単位：万円)

項目	2019年実績	2020年計画	前年比	項目	2019年実績	2020年計画	前年比
組合員数	25,509人	25,684人	100.6%	販売管理費	119,279	120,400	100.9%
供給高	392,196	391,600	99.8%	営業外損益	6,100	6,200	101.6%
供給剰余金	114,115	115,800	101.4%	経常剰余	900	1,600	177.7%
				出資金	108,800	110,000	101.1%

2020年度事業・活動方針について

《食の安全を守り、安心できる食材をお届けする活動》

有機農業の推進、有機野菜セットのリニューアルともったいない野菜の登録制度開始、ネオニコチノイド系農薬不使用の取組み

《理念を共有する仲間を増やし、生協の輪を広げる活動》テーマ『ひろげよう！よつ葉の輪 創ろう！私たちの未来』

食育活動、農業体験、よつ葉カフェの地域開催、組合員拡大と商品普及、よつ葉だより、ホームページの運用

※農業体験、よつ葉カフェの地域開催は、新型コロナウイルスの収束状況を見て判断します

《安心して暮らせる社会をつくる活動》

おたがいさま活動・くらしの電話相談、見守り活動連携、フードバンク支援、3県での健康づくり運動、適格消費者団体生協共通課題の合同取組み、災害マニュアルの改定

《理念を実現するための組織づくり》

定款の一部改定や諸規定の見直しと改善、新卒者・障がい者雇用、経費構造の強化、生協ネットワーク21事業協力

第3号議案 みなし脱会処理の実施の件…反対0 保留3 賛成111で可決しました。

2019年8月末に確定した転居不明組合員202名を脱会として処理することを総代会で承認いただきました。

第4号議案 定款の変更ならびに役員選任規約の改正承認の件…反対1 保留3 賛成110で可決しました。1. 定款の見直しを行い、第68条(事業品目等)に新たに取扱いを開始する事業を追加改定します
追加項目：学生総合共済事業、全国大学生協共済生活協同組合連合会が行う短期生命共済事業

2. 消費生活協同組合法に基づき、附則の変更を改定します

変更項目：厚生労働省から栃木県へ

3. 役員選任規約の改正、成年被後見人等の制限に関わる措置の適正化を図るための関係法律の整備に関する法律の施行により本規約の改正をします。3月の理事会にて承認されました。

改正項目：被補助人という条文を心身の故障のため職務を適正に執行することができない者として厚生労働省令で定める者
上記3点とも総代会で承認いただきました。**第5号議案 役員報酬上限額決定の件…反対0 保留4 賛成110で可決しました。**

役員報酬審議会で協議された答申を理事会にて決定、総代会において承認をいただきました。

第6号議案 役員選任の件…反対0 保留4 賛成110で可決しました。

任期満了に伴い、役員選考委員会で役員選任案を準備し理事会にて決定、総代会で(理事18名、監事3名)の承認をいただきました。

役員	名前	役職	役員	名前	役員	名前
理事	中田秀治	専務理事	理事	石河不砂	理事	鎌柄克美
理事	塚田泰史	常務理事	理事	薄井史子	理事	石川真子
理事	三輪英理子	常任理事	理事	山本智恵	理事	横山美由紀
理事	堀桃子	常任理事	理事	齋藤清美	理事	渡辺亜紀
理事	和久井 克孝	渉外担当理事	理事	柿沼万亀	監事	大森憲子
理事	鶴蔭明美		理事	青木恵美子	監事	田中義博
理事	針谷光絵		理事	小田切洋子	監事	望月茂二

質疑応答の意見等(事前質問含み)

1. 在来種・固定種や自家採取している「種」を育てている農家さんを選んで買い支えたい。分かるマークがカタログに欲しい。

A. 在来種、固定種や自家採取をしている農家さんは、本当に貴重な存在だと思います。これからも、そういった方が増えて、多様な種子を守る取り組みにつながることを願っています。消費者も食べることで、その取り組みに積極的に参加してほしいと思います。カタログにマークをとということですが、現在こういった種を使っている生産者が少ないということもあり、マークでの案内は今のところできませんが、多くの方に種の現状を知っていただくためにも野菜の説明文の中でご紹介していきます。

2. 「種子の会とちぎ」の支援と並行して、私たち消費者も庭先で在来種・固定種の「種」を育てるサークルやプロジェクト、シードバンク的な「種の図書館」のような取り組みがあったら、楽しみながら種や植物にみんなの意識が向くので、そういう取り組みがしてみたい。

A. 多様な種子を守る「種子の会とちぎ」の活動には、組合員の皆さんに情報提供をしながらこれからも支援を続けていきます。よつ葉生協の組合員活動の中には、各委員会の他に、組合員さんの自発的な活動を応援する制度、サークル活動の支援もあります。サークル活動は、組合員3人以上が集まって、理事会の承認を得れば立ち上げることができます。組合員さんの自発的な活動や地域での交流の場として、昨年度は5つのサークルが活動しています。是非、多くの方にチャレンジしていただければと思います。サークルの詳細については、よつ葉生協までお問い合わせください。

3. 添加物講座で、酵母エキスのからくりを聞き、無添加とうたっているが酵母エキスを使っている商品は買うのをやめました。今後の新商品には、なるべく使っていないものを選んでほしい。

A. ご指摘のとおり「無添加」と謳っているが入っている酵母エキス。なんだか釈然としませんよね。同じような役割をするものなのに、化学調味料だと食品添加物で、酵母エキスやタンパク加水分解物だと食品扱いだなんて、法律とはいえおかしな話だと思います。加工品であっても、なるべくこれらのものを使っていない商品を選びたいものです。

酵母エキスやタンパク加水分解物には、塩酸分解法や酵素分解法など、いくつかの製造法の異なる製品があります。

よつ葉生協の現在の基準では、塩酸分解法で作られた酵母エキス等は、発がん性物質が生成する可能性があるとの報告があるため、使用禁止になっています。酵素分解法でつくる酵母エキスやタンパク加水分解物はコストが高いため、主流は塩酸分解法で製造されたものになっています。よつ葉生協では、酵母エキス等を使用する商品の取り扱いが少なくなっているのが現状です。時々、「美味しかったから、よつ葉でも入れてほしい」と組合員さんからリクエストがある商品も、使われている酵母エキスが塩酸分解なので「よつ葉では扱えません」とお断りをする場合があります。

4. 一組合員として、よつ葉生協の取り組みや活動、商品の安全性、品質に高い信頼を寄せ長く愛用させていただいております。

世の中はコストや利便優先で動いていますが、命を守るために本当に重要な食の安全、日本食文化を守り継承して行く先がけとなって、よつ葉生協の組織が活動し方向を示していただくことを期待し、今後も関心を持って応援していきたいと思っています。

・毎年楽しみにしていた総代会で皆様の元気な姿を確認することができず残念。コロナにより色々な事が変化していますが前向きに頑張りたいです。そんな中、よつ葉は変わることなく私達の食生活を支えてくださり感謝です。特に配送の方におかれましては、色々努力して届けてもらいありがとうございます。今回の改選で退任される方がいらっしゃいますが、お疲れ様でしたとお伝えしたいです。特に私の知っている方が退任されるのはとても残念ですが、新役員の方に期待したいと思っています。

毎回、楽しみにしていた総代会前のコンサートが聞けなく残念です。何かの機会にコンサートをしてほしいです。

未収金の回収も徹底して行っていただきたいです。10万円給付があったわけですから尚更です。大変な世の中ですがみんなで協力して進んでいきましょう。

・このコロナ禍の中、食品を扱い組合員さんへの配達等大変な苦勞をされているのだと思います。私は組合員としての生活も20年を越え、様々な災害の中、いつも普通に食材を届けて下さることのありがたさを感じてきました。今回も仕事が減り、行楽もできず心も不安定でしたが毎週届く食材や日用品が不要な外出をしないという自粛生活を支えてくれました。

ありがとうございました。組合員数も増えたと聞いておりますが、是非よつ葉生協の良さを知っていただき長く利用していただきたいなど願っております。組合員活動もしばらくはお休みとなりますが、SNS等を利用して情報交換しています。それもまた楽しいです。この度、退任される理事さんお会いできないのは残念ですが、ありがとうございました。そしてお疲れ様でした。生産者の皆さん、組合員の皆さん、そしてよつ葉生協で働いている全ての皆さんの健康をお祈り申し上げます。

A. 温かい励ましのお言葉ありがとうございます。今後とも組合員皆様の期待に応えるべく生協、生産者業者と一体となって事業を進めてまいります。

**この総代会で退任された役員から、組合員の皆さんへメッセージを寄せていただきました。
よつ葉生協への長年のご尽力に、改めて感謝申し上げます。**

1984年に会員になって以来、今日までよつ葉生協の商品を愛用させて頂いてきました。発足以来、「いのちと健康 暮らしを守る」の理念のもと、未来の子どもたちに安全で安心な商品を残したいという思いが引き継がれてきました。

経営が危ぶまれる時もありましたが、儲かる商品より、安全な商品を選んで組合員の皆さまに届けようという姿勢は変わりませんでした。そういったよつ葉生協の商品に惹かれ、よつ葉生協の活動に惹かれ、よつ葉生協に頼ってきました。

これからは、今までの暮らし方と違ってくるでしょうが、未来の子どもたちが安心して暮らせるよう、新たな生協を構築されることを信じています。

よつ葉生協の監事として、十分な働きはできませんでしたが、理事の時とは違った角度からよつ葉生協に関わることができました。ありがとうございました。

(栃木 兼丸起子さん)

理事として、10年間組合員の皆様には大変お世話になりました。よつ葉カフェ、太田マルシェ、ふれあいまつり、昭和村の農業体験、足利、太田、伊勢崎の地区委員会活動と、多岐にわたり交流させていただき、無事に終えますこと感謝申し上げます。

この間にも、“コープぐんま”“パルシステム”“よつ葉生協”の3つの地域生協が実行委員会をつくり、群馬生協連が協力した「平和を願う映画の上映会」の取り組みがありました。2016年「サクラ花」、2017年「この世界の片隅に」と2年続けての上映会でしたが、多くの組合員さんや一般の方の参加をいただきました。実行委員の一人として他生協の方と交流でき、意義ある時間を共有できました。

今年はコロナウイルス感染症の拡大防止のため、さまざまなイベントも中止となり残念ですが、地区での活動から少しずつ前へ進められたらと願っています。

(群馬 小保方ゆり子さん)

『いのちと健康、暮らしを守る』という理念は、初めは、毎年決める理事会かふれあいまつりのテーマだったような気がしますが、そこによつ葉の目指すところとピッタリと合い、それ以来ずっと掲げられ、今では、ずっとそうであったかのように、よつ葉生協の理念ともいえるものとなりました。よつ葉のマークを考えたり、オリジナル商品を考えたりもしました。組合員さんと生産者さん、業者さんとのつながりをもつことで目に見える『安心、安全』をお届けできる、小さい生協だからできること、それがよつ葉生協の良さだと思います。

今日まで理事として頑張ってきたのも先輩理事の方々から多くを学び、その思いをつないでいかなければならないと思った



倉持さん 兼丸さん 小保方さん 小泉さん 西村さん

からです。また、利用されている組合員さんの思いを伝え、共に考えるよつ葉生協であり続けなければならないと思ったからです。どれだけのことができたかわかりませんが、これからは、一人の組合員としてよつ葉生協を見守っていきたいと思います。長い間大変お世話になりました。

(栃木 小泉 祐子さん)

皆様には大変お世話になりました。ありがとうございました。

理事1年目は、暮楽々委員会と産直委員会の委員として、農家さん達の講話や産地見学を通じて「よつ葉生協の基準」の高さと、より良い経営を進めていく立場の厳しさを学びました。2年目は、商品評価委員会の委員や暮楽々委員会と宇都宮北委員会の担当理事として、組合員の皆様によつ葉生協の理念や活動をわかりやすくお伝えしていく楽しさや喜びも知りました。組合員の皆様の声をよつ葉生協として生かしていく努力の大切さと、「くらら」で紹介されているお品の一つ一つに、エピソードがあることに改めて気付かされました。

よつ葉生協は、風通しの良い組合員さん思いの生協です。これからも組合員の一人として、少しでも多く注文して、買い支えていけるように努めます。

(栃木 西村 雅代さん)

東日本大震災・東電原発事故での支援金 募金報告 (6月3週分)

ご協力ありがとうございます。
組合員さんの温かいお気持ちが今週も寄せられています (単位：円)

放射能から子どもを守る募金 (900番)	7,000
震災孤児を支援する募金 (910番)	15,100
「有機農業と国産種子」募金 (920番)	6,900
合計	29,000

共同購入注文書裏の「10品以上の記入欄」に該当番号と数量をご記入ください。
WEB注文の場合は、左側【企画商品】内の【復興支援募金】をクリック。
一口100円の募金になります。

●編集・発行よつ葉生活協同組合 小山市栗宮 1223

☎0120-07-1613 TEL 0285-45-9100 FAX 0285-45-9101

HP <http://yotsubacoop.jp/>

よつ葉だよりメールアドレス yotsubadayori@yahoo.co.jp

